

笛吹高校 教科シラバス  
平成30年度

## 学校教育目標

- ◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成
- ◎広い視野を持ち、地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成

## 総合学科

### 笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

- 将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深め、心豊かに主体的・創造的に生きていくことのできる資質や能力を育成する。
- 個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや、成就感を体験し、学習に対する意欲や態度を育成する。

### 1年次の目標

『産業社会と人間』の時間、授業体験、社会人講話等を通して、自己を見つめ、地域や社会を考え、将来にわたる生き方あり方について考えを深める。自分の興味・関心や適性・能力等を見出し、自分に合った進路目標の決定に努める。

### 2年次の目標

目指す進路実現に向けて、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得する。

### 3年次の目標

明確な目標意識を持ち、自分の夢や興味関心に応じた知識や技能をさらに究め、進学や就職に対応できる実践力を身につける。

### 学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

2年次以降の具体的な選択科目を決めるために、1年次では自分の個性や適性を発見し、将来の進路や生き方、学習の仕方などを学び、「なりたい自分」探しをします。講演や体験学習を通じて、自分のこととして捉え、職業研究や進学研究をし、理想とする人物の姿を思い浮かべて自分がどう生きるべきかを考えながら授業に取り組みましょう。

2・3年次では、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得するとともに、将来の職業生活に必要な態度や能力を養います。就職・進路の幅を広げられるよう真剣に取り組みましょう。

	教科	科目	
1	国語	現代文B	
2	地理歴史	地理A	
3	理科	生物基礎	
4	保健体育	体育	
5	保健体育	保健	
6	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
7	芸術	音楽Ⅰ	選択1
8	芸術	美術Ⅰ	選択1
9	芸術	書道Ⅰ	選択1
10	国語	国語表現	選択2
11	数学	数学Ⅱ	選択2
12	外国語	英語理解	選択2
13	芸術	クラフトデザイン	選択2
14	家庭	服飾手芸	選択2
15	商業	ビジネスマナー	選択2

人間科学系列スポーツ科学コース

16	国語	国語表現	
17	家庭	生活産業基礎	
18	保健体育	スポーツⅠ	
19	保健体育	スポーツⅡ	
20	保健体育	スポーツⅢ	
21	保健体育	生涯スポーツ	

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		国語・国語表現	単位	2	履修区分	必修修 <b>必修</b> ・選択
対象学年・類型・コース		2年総合学科科 人間科学系列スポーツコース				
使用教科書		高等学校 改訂版 国語表現 第一学習社				
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語で適切、かつ効果的に表現できる生徒</li> <li>・自ら進んで表現することで、国語力の向上や社会生活の充実を図る生徒</li> <li>・「伝え合う力」を生活に活かし、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く生徒</li> </ul>				
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業、小テスト及び課題内容等で学習したことの定着を、定期試験並びに到達度確認テストの成果から判断</li> <li>・意欲的に授業に臨んでいるか観察</li> <li>・基礎学力の定着を、ノート、小テスト、課題学習等の成果から判断</li> <li>・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項を、授業全般で確認</li> </ul>				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付たい力	主たる評価の観点・方法	自己評価	
1 学期	第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真からストーリーを創る</li> <li>・写真に五七五と付ける</li> <li>・誕生月の詩を選ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己独自のストーリーを創る</li> <li>・写真を見て五七五で表現</li> <li>・イメージに合った詩を選ぶ</li> </ul>	授業中の姿勢や課題の状況 定期考査	A B C	
	第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を書く意味</li> <li>・文章の書き方</li> <li>・わかりやすい表現</li> <li>・表現の工夫</li> <li>・描写の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を書く意味を考える</li> <li>・基本的な書き方で書く</li> <li>・分かりやすい文章を書く</li> <li>・表現技法を理解する</li> <li>・描写の硬化を理解する</li> </ul>	授業中の姿勢や課題の状況 定期考査	A B C	
2 学期	第3回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉にする」から始めよう</li> <li>・相手理解は聞くことから</li> <li>・メールか手紙か</li> <li>・手紙を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを言葉にして相手に伝える</li> <li>・聞くことの意義を考える</li> <li>・手紙とメールの長所を考える</li> <li>・手紙の価値と必要性を理解する</li> </ul>	授業中の態度や課題の状況 話し合いの姿勢 定期考査 夏期休業課題	A B C	
	第4回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想像の旅</li> <li>・紹介文・宣伝文を書く</li> <li>・パンフレットを作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告におけるコピーの目的と効果を理解する</li> <li>・紹介文、宣伝文を理解する</li> <li>・主体的に情報を発信することの必要性を理解する</li> </ul>	授業中の態度や課題の状況 話し合いの姿勢 定期考査	A B C	
3 学期	第5回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録文を書く</li> <li>・レポートを書く</li> <li>・資料を編集する</li> <li>・考えを発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録文の基本的な形式を理解し、実際に書く</li> <li>・レポートの書き方を身につけ、実際に書く</li> <li>・データを整理、編集する方法を身につけ、実際に編集する</li> <li>・スピーチの形式を理解し、実際に発表する</li> </ul>	授業中の態度や課題の状況 話し合いや発表の姿勢 定期考査 冬期休業課題	A B C	
検定資格(時期)		特になし				
諸費用(予定)						
履修にあたって		「日本語」を使うことはできるが、「正確に使うこと」は難しい。そこで、「より一層伝わる表現」を模索しながら、課題等への取り組みを重視していくので、授業にきちんと取り組む姿勢を維持することを心掛ける。				

平成 30 年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		家庭・生活産業基礎	単位	2	履修区分	必履修・選択
対象学年・類型・コース		2年・総合学科・人間科学系列				
使用教科書		生活産業基礎 (実教出版)				
目標とする生徒の将来像		衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業への関心を高め、必要な知識と技術を進んで習得し活用する意欲と態度を育てる。				
評価の観点		<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的、積極的に課題解決しようとしているか。</li> <li>・生活産業の職業人に必要な知識と技術を進んで学び、活用しようとしているか。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身を取り巻く生活について見直し、課題を見つけ、その解決を見指して、学んだ知識・技術を生かしたいいくつかの方法を比較検討し、意思決定をするなど工夫し、創造しているか。</li> <li>・調査・観察などの技術やまとめて表現できる技術などを身につけているか。</li> </ul> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の検定・授業で身につけた知識や技術を適切に表現しているか。</li> </ul> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洋服の歴史、立体構成、被服材料について基礎的な知識を身につけているか。</li> <li>・山梨の特産品について調査し、知識として身につけているか。</li> </ul>				
学期	期間	単元・教材名	主たる目標		評価の観点	
1 学期	第2回定期試験	生活産業基礎を学ぶ	・生活産業基礎を学ぶにあたり、学習の意義、内容を理解する。		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】	
		生活に対応した商品・サービスの提供	・生活産業基礎を学ぶにあたり、学習の意ぎ、内容を理解する。			
2 学期	第4回定期試験	食生活関連分野の産業と職業	・市場の商品がどのように企画・開発されているかを知り、サービスの提供について考える。		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】	
		・地元の特産品について	・食生活の変化と生活産業のかかわりを考える。			
3 学期	第5回定期試験	・地元食材を使った調理レシピの考案	・地元の特産品 (食材) に目を向ける。		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】	
		・地元食材を使った調理実習	・地元が食材をどのようにPRしようとしているのか調査する。			
3 学期	第5回定期試験	衣生活関連分野の産業と職業	・地元の特産品をどのように活用できるのかを積極的に考えることができる。		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】	
		・わが国の衣生活の変化	・目下をもち調査したことをまとめて、発表することができる。			
3 学期	第5回定期試験	ファッション産業の仕組み	・調査し、発表したレシピを実際に作ってみて確認する。		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】	
		・被服製作	また、積極的な意見交換を行い、相互評価する。			
3 学期	第5回定期試験	住生活関連分野の産業と職業	・意見を参考にレシピを再考する。		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】	
		・住生活の変化と生活産業のかかわり	・わが国の衣生活の変化について考える。			
3 学期	第5回定期試験	・現代の生活・生活課題と住まい	・あるものを利用して、身近なものを型紙から製作してみることで成り立ちを知る。		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】	
			・住まいとは何かを考える。			
検定資格 (時期)						
・ 諸費用 (予定)		実習材料費 300円程度 (徴収予定)				
履修にあたって		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活産業が消費者の多様なニーズにこたえて商品やサービスの提供を行うことによって、人々の生活を豊かにしていることを認識し、生活産業や関連する職業に必要な知識と技術を進んで習得し、職業人として活躍しようとする意欲と態度を育てる。</li> <li>・必要な知識と技術を学び、生活の質の向上と社会の発展に寄与しようとする意欲と態度を育てる。</li> <li>・授業態度・プリント・学習ノート・の記入状況および提出状況、実習記録表、実習作品、実技試験、定期考査の成績等から総合的に評価します。</li> </ul>				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		保健体育・スポーツ I	単位	2	履修区分	○ <b>必修</b> ・必修 ・選択	
対象学年・類型・コース		2年総合学科スポーツ系列					
使用教科書		なし					
目標とする生徒の将来像		・自ら積極的に幅広い種目のスポーツに関わり、他者と能動的なコミュニケーション活動を行うことで、主体的に考え、明るく行動力のある生徒の育成。					
評価の観点		①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。 ②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。 ③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。 ④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価		
1 学期	第1回定期試験	・陸上競技、水泳、スキー、スケート、球技などから、用具、施設の状況を鑑み、選択して行う。	・スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C		
	第2回定期試験						
2 学期	第3回定期試験						
	第4回定期試験						
3 学期	第5回定期試験						
検定資格(時期)		なし					
諸費用(予定)		なし					
履修にあたって		今まで専門的に取り組んだことのない種目だからこそ、伸びしろがある。自己の可能性を伸ばせるよう、失敗を恐れずチャレンジしよう。					

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	保健体育・スポーツⅡ	単位	2	履修区分	必履修・必修・選択
対象学年・類型・コース	2年総合学科スポーツ系列				
使用教科書	なし				
目標とする生徒の将来像	・自ら積極的に幅広い種目のスポーツに関わり、他者と能動的なコミュニケーション活動を行うことで、主体的に考え、明るく行動力のある生徒の育成。				
評価の観点	①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。 ②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。 ③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。 ④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	・球技選択 ゴール型 ネット型 ベースボール型 ターゲット型	・球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通じてスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C
	第2回定期試験				
2 学期	第3回定期試験				
	第4回定期試験				
3 学期	第5回定期試験				
検定資格(時期)	なし				
諸費用(予定)	なし				
履修にあたって	今まで専門的に取り組んだことのない種目だからこそ、伸びしろがある。自己の可能性を伸ばせるよう、失敗を恐れずチャレンジしよう。				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	保健体育・スポーツⅢ	単位	2	履修区分	必履修・必修・選択
対象学年・類型・コース	2年総合学科スポーツ系列				
使用教科書	なし				
目標とする生徒の将来像	・自ら積極的に幅広い種目のスポーツに関わり、他者と能動的なコミュニケーション活動を行うことで、主体的に考え、明るく行動力のある生徒の育成。				
評価の観点	①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。 ②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。 ③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。 ④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	・武道及び、身体表現活動を行う。	・武道及び身体表現活動などの専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C
	第2回定期試験				
2 学期	第3回定期試験				
	第4回定期試験				
3 学期	第5回定期試験				
検定資格(時期)	なし				
諸費用(予定)	なし				
履修にあたって	今まで専門的に取り組んだことのない種目だからこそ、伸びしろがある。自己の可能性を伸ばせるよう、失敗を恐れずチャレンジしよう。				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	保健体育・生涯スポーツ	単位	2	履修区分	必修 <b>必修</b> ・選択
対象学年・類型・コース	2年総合学科スポーツ系列				
使用教科書	なし				
目標とする生徒の将来像	・スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指した課題研究を通して、生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及びスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。				
評価の観点	①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。 ②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。 ③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。 ④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	・球技	・球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通じてスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C
	第2回定期試験				
2 学期	第3回定期試験				
	第4回定期試験				
3 学期	第5回定期試験				
検定資格(時期)	なし				
諸費用(予定)	なし				
履修にあたって	生涯にわたって運動に親しんだり、自己の体力向上及び健康の保持増進を図れるよう、運動の楽しさや、喜びを学んでください。				